

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課	作成責任者	常勤		その他			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	小川 剛志	職員数	再任用フルタイム職員数	再任用短時間職員数	臨時職員数	非常勤嘱託職員数	総時間	一人あたりの月平均
				3	0	1	0	4	77	2.1

※鶴嶺公民館

1 施策指標と実績

施策指標名	第2次実施計画 の現状値	目標値 (27年度)	実績値			
			24年度	25年度	26年度	27年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	47,051人	48,000人	48,296	46,107	47,107	48,593
文化財の指定件数	39件	43件	42件	42件	43件	45件

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- Z 未着手事業
- 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事務区分	実績			従事者数	会計区分	H27予算 H27決算 (千円)	事務事業の指標名	H27目標値	H27実績値	評価	業棚 選定
		何を・誰を(対象) どうする(生まれる成果)		業務 計画	広域 連携	行政 改革								
1	公民館運営審議会	各種事業や公民館が抱える課題等について、調査・審議を行い、社会教育の振興を目指す。	自治事務				0.30	一般	323 ----- 280	公運審開催回数(年間)	4回	4回	S	
2	公民館利用者活動支援事業	サークル、団体等の公民館での学習活動が円滑に行えるようにするとともに公民館を運営するための業務管理を行う。	自治事務				1.72	一般	8,419 ----- 8,310	開館日数	308日	308日	S	
3	施設維持管理	公民館施設の適正な維持管理を行う。	自治事務				0.35	一般	2,958 ----- 2,625	年間日数	366日	366日	S	
4	施設保守点検	利用者が公民館を安心して利用できるよう施設の点検を行う。	自治事務				0.32	一般	1,375 ----- 1,366	保守点検の実施回数	年1回～月2回	年1回～2回	S	
5	社会的要請課題をテーマとした事業	現代社会の様々な課題の解消に向けて、学習の場を提供し、学習活動の活性化を図る。	自治事務	●			0.89	一般	252 ----- 181	事業数	14事業	15事業(2,048人参加)	S	
6	地域交流事業	様々な形で地域交流の場を提供し、地域の活性化を図る。	自治事務	●			0.49	一般	82 ----- 175	実施事業数(年間)	2事業	4事業(1,932人参加)	S	
7	子ども事業	公民館利用団体等の協力を受け、子どもや親子を対象とした体験学習を実施し、子どもと大人の交流を促進する。	自治事務	●			0.78	一般	342 ----- 251	開催事業数(年間)	12事業	7事業(1,752人参加)	A	●

8	公民館ふれあい事業	事業を通して公民館に地域の多くの人が集うことによりコミュニティを創造する。	自治事務				0.55	一般	----- 311 125	開催事業数(年間)	8事業	6事業(192人参加)	A	
9	学習成果の還元事業	学習成果を生かす機会や発表・交流の場を提供する。	自治事務	●			0.60	一般	----- 270 270	開催事業数(年間)	2事業	3事業(4,320人参加)	S	
10	学習情報の提供	学習情報の収集、整理を行い、求められる学習情報の提供を行う。	自治事務				0.24	一般	----- 0 0	公民館だよりの発行回数(年間)	3回	2回	A	
11	家庭教育支援関連事業	市民の学習活動の活性化を図り、家庭教育を推進する。	自治事務	●			0.49	一般	----- 102 114	実施事業数(年間)	3事業	7事業(532人参加)	S	
12	次世代育成ネットワーク事業	地域の教育機関や団体等と連携し、次世代育成を図る。	自治事務			●	0.20	一般	----- 0 0	連携する事業数(年間)	1事業	1事業(295人参加)	S	
13	災害応急対策活動事業	災害発生時に被害を軽減し、応急対策活動を迅速的確に行う。	自治事務				0.06	一般	----- 0 0	-	-	-	-	
14	庁内共通業務	-	自治事務				0.17	一般	----- 0 0	-	-	-	-	
合計							7.16	予算 決算	----- 14,434 13,697					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
鶴嶺公民館の第2次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通業務」を除き12事業である。これらの指標の達成度及び事業の実施効果は、「S」が9事業、「A」が3事業となっている。	
公民館の事業は、公民館の施設管理業務と事業の運営活動業務に分けることができ、どちらも定例的な業務である。施設管理状況や事業の運営、社会的要請課題に対応する事業など様々な講座の開催は、何を行ったのかといういわゆる活動指標として、回数や日数の設定による評価になってしまう。しかしながら、地域の学習・交流の場、仲間づくりの場の提供などは、目に見える形として、表面に映し出すことが難しいが、公民館として大切な役割であり、市民にとってそれがどのような意義があったのかという事業成果に結び付けていくことが課題である。活動指標の設定、その達成とともに、結果どうだったのかという成果指標の設定を行い、公民館事業に反映させていくことが必要である。	
職員が2名と再任用職員1名で、また組織体制が他の課かいと違うため、定例的な事務業務を処理することに、専念することとなっており、本来かかわるべき公民館の主催事業まで取り組むことが難しいのが現状である。主催事業を主に担っている社会福祉職員の事業内容や実施状況を、与えられた資源において、職員がしっかりとフォローする体制づくりを、今後どのレベルに捉え、事業に取り組んでいくのかは、時間外勤務の状況とのバランスに応じた検討が必要である。	
こども事業、社会的要請課題に対応する事業など、それぞれに対応した主管課が事業を実施している場合もあるため、より市民に身近な公民館を利用した、一体となった取り組みによる相乗効果を図る仕組みづくりが、必要であると考える。	

4 新たな行政改革重点推進事業

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし		